



本校の教育目標
 一、賢く 想像力豊かな生徒を育てる
 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる
 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる
 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる

今年度の重点目標
 感性豊かに、夢や目標に向かって、
 学び続ける生徒の育成

いま奏でよう！富中シンフォニー！

「全力少年」～あのころの僕らは全力で少年だった♪セカイを開くのは誰だ♪

校長 津谷 昌樹

第42回文化祭が10月1日（土）に開幕します。これまで、およそひと月にわたり全校一丸となって準備を進めてきました。いよいよその成果を発揮する時です。全校生徒の心を一つにして、素晴らしい富中シンフォニーを奏でましょう！

各学級が金賞を目指して競い合い、必死に作品づくりに取り組んできた合唱・はり絵・似顔絵・ペーパークラフト。教科の課題として全員が取り組み、その中から学級・学年の審査を経て選出された代表者による生活体験発表と英語暗唱発表。その他にも、力作・秀作がそろった教科や部活動展示、吹奏楽部による迫力ある演奏。生徒会役員のアイデアによる企画や演出。各委員会もそれぞれに役割を担って頑張ってくれています。今年も、限られた準備期間の中で効率よく作業や準備を進めていくことが求められましたが、例年以上に素敵な作品、楽しみな企画が揃いました。

文化祭に向けての取組は、普段の学校生活とはひと味違う貴重な学習場面です。練習や制作、準備の期間には、うまくいくことばかりではなかったはずですし、時にはぶつかりあうこともあったでしょう。「喜・怒・哀・楽」たくさんのドラマが生まれたことと思います。その一つ一つは、どれもが生徒の皆さんにとって大きな価値のあるものです。おそらく、無駄になることや無意味なもの一つもありません。ですから、当日の結果はもちろん大切ですが、ここまで仲間たちとともに過ごしてきた時間の尊さと、そこにこそ感動と充実感の源があることを実感してほしいと思います。

そして、この活動全体を通じて、皆さん一人ひとりが、仲間と協力して創り上げることの素晴らしさを感じ、自分の責任を果たすことの大切さを大いに学んでくれることを願います。

保護者・地域の皆さまには、是非ご来校いただき、子ども達の熱い思いが込められた作品や発表に温かい拍手や励ましのお言葉をいただければ幸いに存じます。

心よりお待ちしております。



10月の行事予定

★10月は「どさん子体力アップ強調月間」です。北海道の子どもたちは運動時間が短く、体力不足が心配されています。生涯にわたる健康のためにも、体を動かす時間をつくり、体力アップをめざしたいものです。ご家庭でも運動に親しむ環境作りをお願いいたします。

日	曜	日課	給食	行事等	備考
1	土		×	文化祭	
2	日				
3	月			(振替休業)	
4	火	6時間	○	一斉委員会	SC
5	水	5時間	○		部活再登校
6	木	6時間	○	前期終業式 通知表配付 生徒会役員認証式 市内中学校音楽発表会(文化祭3年合唱金賞学級)	
7	金			秋季休業開始 英検	
8	土				
9	日				
10	月			(体育の日)	
11	火			秋季休業終了	
12	水	5時間	○	後期始業式	部活再登校
13	木	6時間	○	3年学力テストB	
14	金	(1時間)	×	石狩管内教育研究会のため休業日 ※研究授業を行う学級は登校日となります 1年2組(社会)、1年6組(家庭科) 7組(美術)	部活なし
15	土				
16	日				
17	月	6時間	○		
18	火	6時間	○		SC
19	水	5時間	○	学級役員認証式 職員会議	部活なし
20	木	6時間	○	一斉委員会	
21	金	6時間	○		
22	土				
23	日				
24	月	6時間	○	避難訓練	
25	火	6時間	○	管内生活体験文・英語暗唱発表会(江別市)	SC
26	水	5時間	○	職員研修	部活再登校
27	木	6時間	○	P T A研修旅行	
28	金	6時間	○		
29	土				
30	日				
31	月	6時間	○		

市P連富中校区教育交流会 が行われました

今年度は高台小P T Aが運営を担当してくださり、9月27日に「子どもたちのみらいのために～今、何を」と題して、安藤修平氏による講演が行われました。「子育てとは、子どもの

自立を促す営みであり、子どもの未来に橋を架ける仕事である」として、多くのことをお話しくださいました。「あわてない、あせらない、あきらめない、あてにしない、の4つの『あ』の原理」、「人とかかわりを大切にして脳の機能を指揮する前頭葉を鍛えれば成績も上がる」「中学生は主体性と自律性、好奇心と観察力を養うとき。過干渉はバツ、父親の出番、子離れスタート」「同じ時間に同じ人と同じ場所でご飯を食べることは道徳性を育む上でも大事」などの話がありました。豊富な知識と経験をお持ちの安藤氏の言葉は説得力があり、会場の皆さんは真剣に聞いてメモを取り、笑い、当てられてドキドキし、充実した時間を過ごしました。ご参加ありがとうございました。

Topic

9月10日に防災の森で行われた「千歳防災訓練」に、富丘中パソコン部が参加しました。



火起こし体験

この訓練は、地域防災・減災力の強化を図る目的で行われました。パソコン部は30名で参加し、ロープワークや土のう作成、テント設営など、さまざまな体験をしました。市民の1人として防災・減災意識を高めました。



土のう作成体験



ロープワーク体験



浮環を使用する救出体験

〈PTA〉9月11日に行われたキリンビール千歳工場杯ソフトボール大会に富中&末広小PTA(OG含む)チームが出場、3位入賞を果たしました！固い守備と打撃力はあっぱれ！でした。



チーム「富丘末広小学校」

〈陸上部〉9月17・18日に函館で行われた北海道中学校新人陸上競技大会に出場した。〇〇〇〇選手が走り幅跳びで第2位(記録6m02)、〇〇〇〇選手が砲丸投げで第5位(記録10m21)に入賞しました。

〈卓球部〉9月22日に北広島で行われたトヨタカローラ杯札幌杯卓球大会に出場した〇〇〇〇選手が中学生男子第3位に入賞しました。

〈美術部〉神田日勝記念美術館主催「第22回馬の絵作品展」に応募した〇〇〇〇さんが佳作を受賞しました。

～ありがとうございました～
9月21日、23日に行った学校公開日には、合計59名の方にご来校いただきました。各学級代表の生活体験文、英語暗唱は聞き応えがあったのではないのでしょうか。
合唱はあのときよりぐっと良くなって本番を迎えます。

〈出前授業〉伊東直輝氏の講演から

9月24日に「技能五輪への挑戦」のテーマでご講演いただいた内容をご紹介します。

講演に先だって、体育館では伊東さんが愛知県から運び込んだロボット本体に部品を取り付け、動作確認を行っていました。迷いなくテキパキと部品を取り付け、パソコンのプログラムを確認して移動式ロボットを遠隔操作する伊東さん。前後左右斜めと自由自在に無駄なく動く、不思議な形をした車輪と4輪それぞれの独立した動き、物を運ぶためのアームの滑らかな動き。課題をクリアするために、基盤の設計から自分たちで行い、作りあげたものです。実演の時に壇上に上がった皆さんは、この機械にたくさんの技術が詰まっていることを実感したことでしょう。

中学校時代

授業ははじめに受け、宿題も忘れることなく提出していた。好きなことはほとんどやる性格だった。部活は友人に誘われてバスケット部に入ったが、運動は得意ではなく「やめたい」と思うことも。それでも最後までやめず、「がんばって続けること」の大切さを知った。中学校卒業後の進路は、就職を考えていたので普通科以外から、両親に言われて工業高校を選択。

高校時代

就職に有利な知識を身につけるための部活として機械工作研究部に入部。ロボット作りをするうちに「就職のため」ではなく「全国大会を目指したい」と思うように。ロボット作りには数学の幅広い知識も必要になるが、わかってくるとおもしろくなった。部活に没頭し、高3で全国ベスト16となった。両親に言われて進路を決めた中学時代と違い、自分で目標を決めて頑張るようになった高校時代。その後は「部活で取り組んだ移動式ロボットで技能五輪に挑戦したい」という思いから、日本でその種目に取り組んでいるデンソーへ進むことに。

デンソーで学び技能五輪に挑戦、見事金メダルを獲得そして技能五輪を経て



試作開発課に配属された。ここでは「新しい製品を作る、製品になるまで作り込む」ことが仕事。大人になって働くようになったら勉強しなくていいのだからかとは思っていた。だがそうではない。答えが決まっている問題を解くような勉強ではなく、答えのないものと向き合い、自分で答えを探す。そのために自分で必要な勉強をするということだ。

後輩であるみんなへのメッセージ 目標を持つことで、何が足りないか、何をすればいいのか、考えるようになる。仲間ができれば困っても助けてくれる。何事にも挑戦してほしい。「失敗したら怒られる、怒られたらイヤだから挑戦しない」という人がいるが、失敗して本当に怒る人はいない。(命にかかわってくるからルールを無視するのはダメ。)失敗するのが格好悪いのではなく、失敗を怖がって何もしないのが格好悪い。失敗から学び、次の成功につなげてほしい。

生徒を代表して〇〇〇〇さんから「目標を持って行動、勉強することの大切さを学びました」とお礼の言葉が述べられ、講演会は終わりました。



